



白石町立須古小学校 平成30年度よりよい学校にするためのアンケート結果



保護者の皆様へ

1月に行いました「学校評価アンケート」につきましては、ご協力ありがとうございました。
保護者アンケート回収率は、97.5%でした。

以下、児童、保護者、教職員のアンケート結果と改善策等を掲載しております。

本校では、皆様方のご回答を貴重なご意見、ご支援と受けとめ、今後の学校教育の改善に役立たせていきたいと考えております。今後とも、本校の学校教育へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

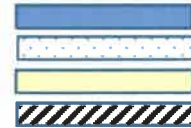
棒グラフの数字は、評価毎の割合(左からA, B, C, D)

A: 十分そう思う

B: だいたいそう思う

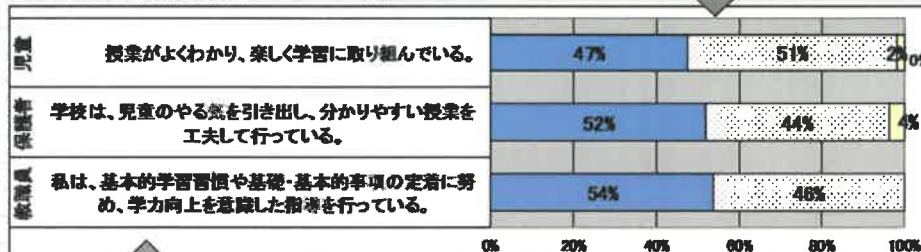
C: あまりそう思わない

D: 全くそう思わない



【グラフの見方】

1 学力向上(基礎的・基本的学力の定着)



(考察及び今後の取り組み)

- ・全国学力・学習状況調査(6年生対象4月実施)では、全て全国・県平均を上回り、佐賀県学習状況調査(4~6年生対象1月実施)においても、ほとんどの教科で県の平均値を大きく上回ることができました。
- ・児童アンケートでは、「授業がよくわかり、楽しく学習に取り組んでいる」という児童の割合は昨年より伸びてきており、「全くそう思わない」と答えた児童が0%になっています。しかしながら、保護者アンケートの「学校は、児童のやる気を引き出し、分かりやすい授業を工夫して行っている」については、反省すべき数値が出ております。今後さらに、わかる授業づくりに向けて、研修を重ねる学校として教師の授業力向上に努めていきたいと思っております。

上段: 児童

二段目: 保護者

三段目: 教職員への質問項目

児童・保護者・教職員の評価の
平均値

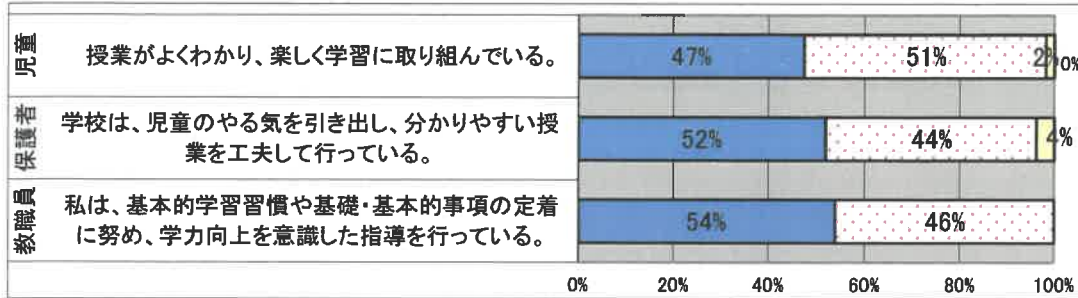
右端の数値は、評価値

$$Aの得点率 \times 4 + Bの得点率 \times 3 + Cの得点率 \times 2 + Dの得点率 \times 1$$

評価A.....4.0~3.3 評価B.....3.2~2.5

評価C.....2.4~1.8 評価D.....1.7~1.0

1 学力向上(基礎的・基本的学力の定着)



3.5 A

3.5 A

3.5 A

平均
3.5 A

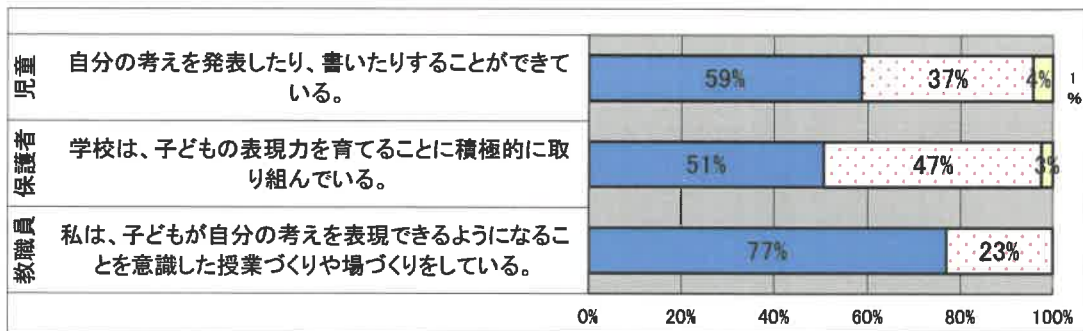
(考察及び今後の取り組み)

・全国学力・学習状況調査(6年生対象4月実施)では、全て全国・県平均を上回り、佐賀県学習状況調査(4~6年生対象12月実施)においても、ほとんどの教科で県の平均値を大きく上回ることができました。

・児童アンケートでは、「授業がよくわかり、楽しく学習に取り組んでいる」という児童の割合は昨年より伸びてきており、「全くそう思わない」と答えた児童が0%になっています。しかしながら、保護者アンケートの「学校は、児童のやる気を引き出し、分かりやすい授業を工夫して行っている」については、改善すべき数値が出ております。今後さらに、わかる授業づくりに向けて、研修を重ね学校として教師の授業力向上に努めていきたいと思っております。



2 学力向上(自分の考えを表現する力の育成)



3.5 A

3.5 A

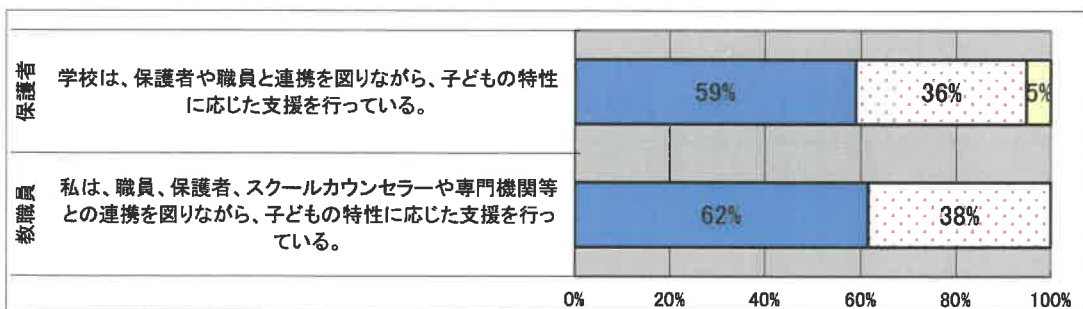
3.6 A

平均
3.5 A

(考察及び今後の取り組み)

・昨年度に比べて、「自分の考えを発表したり書いたりすることができている」と答えた児童が増えてきています。児童が自分の考えをもつ場や考えを表現したり交流したりする場を意識的に設けたことで、表現することに対して自信をつけてきているようです。保護者の「十分そう思う」の割合も昨年より8ポイント上がっています。引き続き、児童が自分の考えを友だちと交流したり、表現したりできる場をいろんな教科において設定し、できた事に対して称賛しさらに自信をもって表現ができるようにしていきます。

3 特別支援教育・教育相談の充実



3.5 A

3.5 A

平均
3.5 A

(考察及び今後の取り組み)

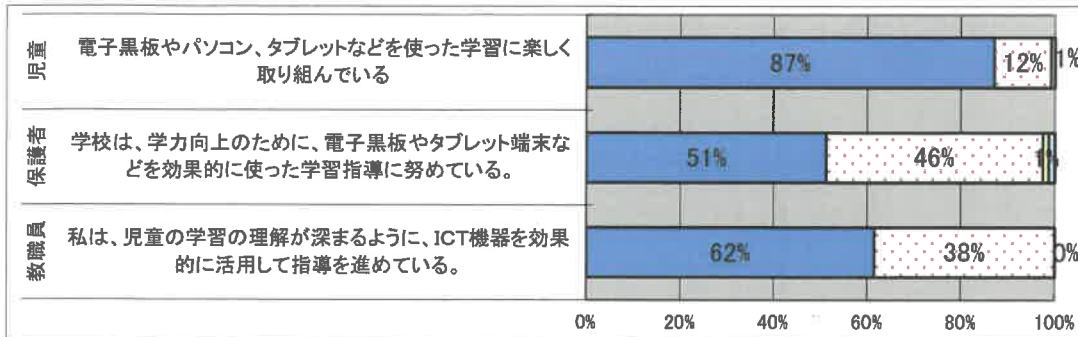
・児童理解では、年度当初に職員全体で児童の実態を把握したり、定期的に情報交換を行ったりして、全職員が共通した個別の対応や指導ができるようにしています。

・特別支援教育では、インクルーシブ教育の視点に立った個別の支援計画等を基に、定期的に支援会議を行い、専門機関、医療機関と連携した支援体制の工夫・改善に取り組んでいます。

・教育相談では、保護者とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関係機関と連携を図り、生活や学習について一人一人に応じた指導・支援に努めています。また、児童理解のための研修会を定期的に行っています。



4 ICTを活用した授業実践の推進



3.9 A

3.5 A

3.5 A

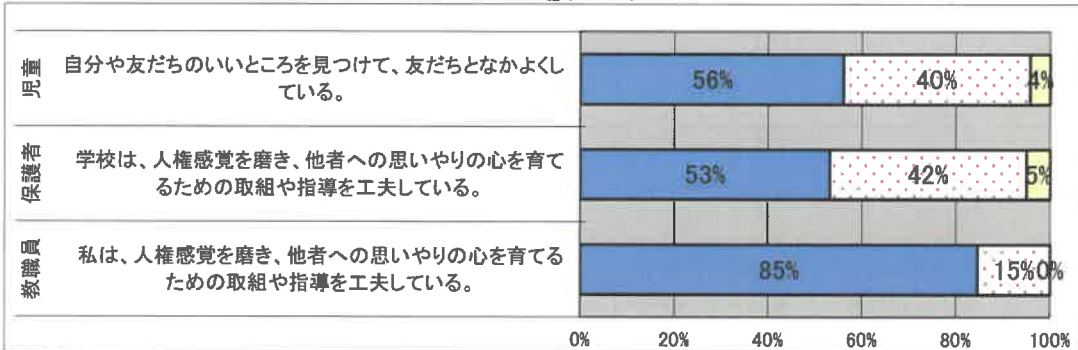
平均
3.7 A

(考察及び今後の取り組み)

・1ヶ月毎に各教室でタブレットPCが使える環境になり、パソコン教室と併用することで活用の場が広がりました。子どもたちは、課題解決のために情報を検索し収集したり、表現の手段として活用したりと、とても意欲的に学習に取り組み学習意欲も向上してしています。さらに、情報収集力、情報活用力、表現力を高めるため、社会、理科、家庭科、総合的な学習の時間等で、調べ学習やスキル学習を繰り返し、個々の能力やスキルの向上を目指していきたいと思います。

・ICT機器の授業における効果的な活用について職員研修を深め、児童の学力向上につながるような活用ができるようにしたいと思います。

5 人権意識の向上・感謝の心・思いやりの心を育てる



3.5 A

3.5 A

3.7 A

平均
3.5 A

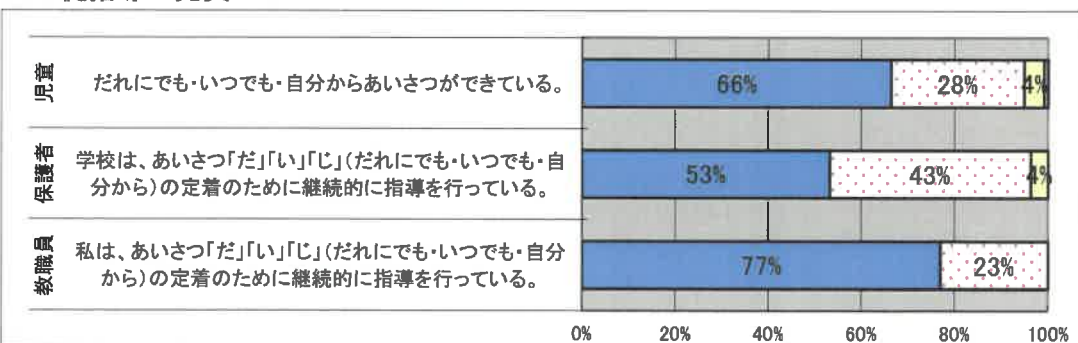
(考察及び今後の取り組み)

・年間を通して人権集会、平和集会、なかよし活動、けやきカードなど、様々な人権教育に取り組んでいることで、互いのよさを認め合い励まし合う姿が多く見られるようになってきました。

・今年度より、「特別の教科 道徳」が始まりました。子どもたちが、自分の考えを本音で語り合える、『考え・議論する』道徳の授業を目指し、研修を深めていきたいと考えています。今後とも、道徳の授業や豊かな体験活動の充実にも努め、子どもたちの豊かな心の育成を図ってまいりますので、ご協力をお願いします。



6 生徒指導の充実



3.6 A

3.5 A

3.6 A

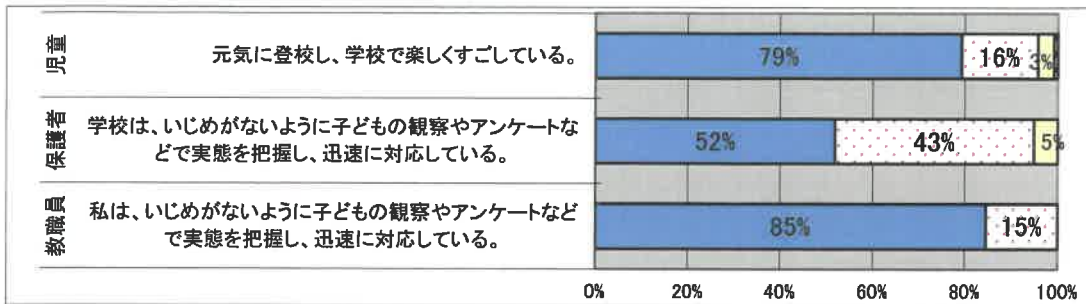
平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

・あいさつについては、生徒指導の重点指導項目「あいさつ・そうじ・あとしまつ」の1番に挙げ、校長や職員の立哨指導、運営委員会のあいさつ運動に日々取り組んでいます。登校時や下校時に限らず、校内でも元気に大きな声であいさつをしてくれる子どもたちが増えてきました。しかしながら、保護者アンケートの記述には「地域の行事に出ると、なかなかあいさつや返事ができにくいことが多いように感じますし、その点に対しても、実行までつなげることが難しい状況です。」とあり、地域でのあいさつが課題です。コミュニティスクールの重点課題として挙げていますので、学校と家庭・地域が連携して継続的に指導をしていきたいと思っています。



7 いじめのない学校づくり



3.6 A

3.5 A

3.6 A

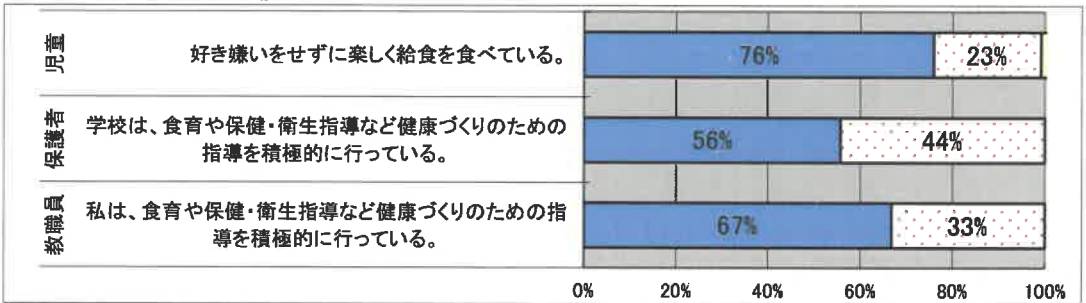
平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・子どもたちが学校生活を楽しく安心して過ごせるように、縦割りでの活動や集会活動などを充実させ、グループやクラスの一員として楽しく活動できる機会を増やし、子どもの居場所づくりに努めています。
- ・5月と12月には全学年で学校生活満足度アンケート(QU)を実施し、児童の実態を把握しその結果を学級づくりに生かし子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしています。
- ・学期毎の「ころのお天気」や、7月には「生活習慣と健康に関する調査」を実施することで、一人一人の児童に気を配り、励ましたり悩みを聞いたりすることを続けています。
- ・保護者の「十分そう思う」の割合は昨年より5ポイント上がっています。学校として「いじめは絶対に許さない」という信念を教職員全員がもち、いじめの前段階として考えられる、ふざけや悪口に対しては、毅然とした態度で即座に注意・指導するようにしています。ご家庭で子どもたちの様子でお気づきの点がありましたら、学校までお知らせください。



8 望ましい食生活習慣の形成



3.8 A

3.6 A

3.5 A

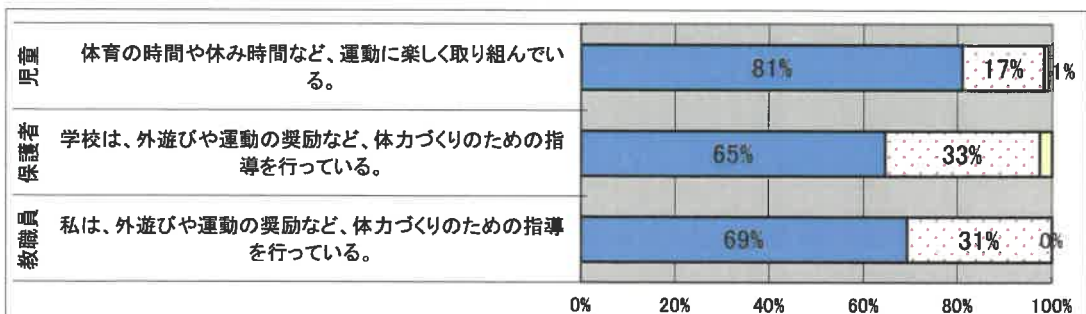
平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・4・5年生は地域婦人部や食改の方々のご支援で親子料理教室や須古寿司づくりに取り組んだり、6年生はしめ縄作りの後に地域の方々や保護者と一緒に豚汁で会食をしました。
- ・給食週間では、町の栄養職員の先生から給食センターの後片付けや準備の様子を説明してもらい、調理員さんへ感謝の気持ちを持ち、残さず食べることの意味を改めて考えることができました。



8 運動習慣の定着化・望ましい生活習慣の形成



3.8 A

3.6 A

3.5 A

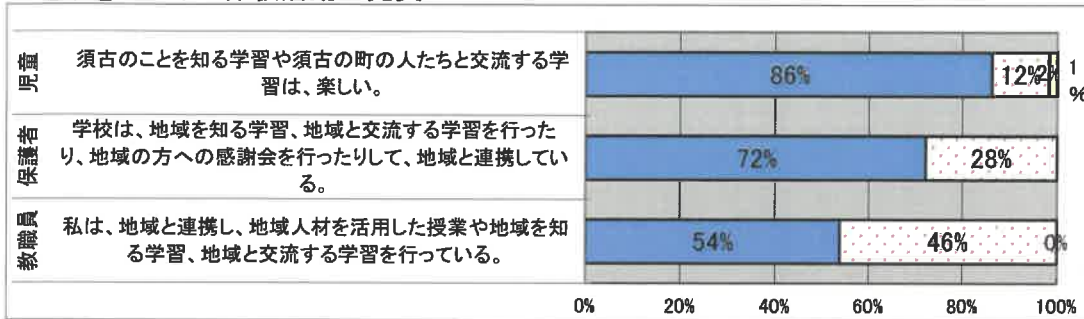
平均
3.7 A

<考察及び今後の取り組み>

- ・子どもたちのたくましく健やかな体づくりのために、外部講師を招聘し水泳指導や、器械運動等の指導を行い、子どもたちが自分のめあてに向かって意欲的に取り組む体育学習の充実を図っています。また、休み時間の外遊びを奨励し、体育委員会の子どもたちが中心となって、スポーツチャレンジに取り組むことで、外遊びや運動に楽しく取り組む児童の割合が高まりました。
- ・1月には、「隆城ロードレース」に向けてジョギング・ウォーキング週間を設け、子どもたちはそれぞれの目標で楽しく取り組むことができました。



9 地域を生かした体験活動の充実



3.8 A

3.7 A

3.4 A

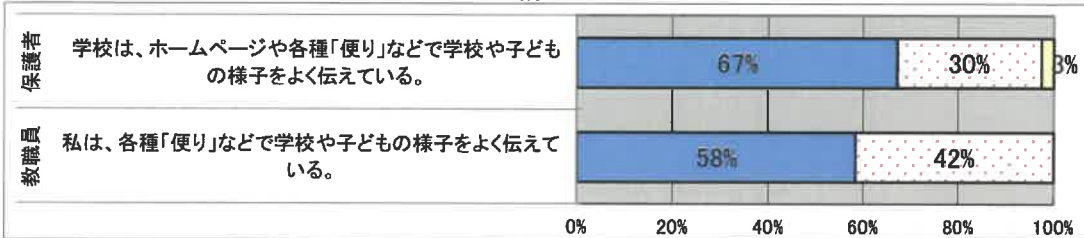
平均
3.8 A

(考察及び今後の取り組み)

・今年も、1・2年生の七夕飾りづくり、町たんけん、3年生の白石町巡り、4年生の地域のお年寄りとの交流、5年生の米づくり、6年生のしめ縄作りなど地域の方々のご協力を得て、子どもたちは豊かな体験活動をすることができました。地域の皆様に心より感謝しております。

・須古小校区内には、豊かな自然と数多くの歴史的文化遺産があります。これらの地域素材を学習に活用して、郷土を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。地域行事に積極的に参加させ、活動を通して豊かな人間関係を育み、自分たちの住む郷土への理解と愛着を深める教育を進めていきたいと思ひます。

10 コミュニティスクールの連携支援体制の構築



3.6 A

3.4 A

平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

・学校便りやHP、フェイスブックなどで学校の様子をお伝えしています。閲覧していただいたりご感想をお寄せいただいたりしてありがとうございます。

・今後も学校の様子を広く発信し、双方向のやりとりができるようにしていきたいと考えています。



<保護者の方より>

- 先生方のおかげで学校が大好きなようです。
- いつも子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。
- 個別の対応が協力的でありものすごく感謝しています。
- フェイスブックや学校便りで、学校の様子がよく分かり、とてもありがたいです。お忙しいと思いますが、今後とも続けてほしいなと思います。
- いつも細かいところまで気遣いをしていただきとてもありがたく思っております。今後も須古小の教育活動に対してできるだけ協力していきますのでよろしくお願ひします。
- 子どもが算数でつまづいた時に、連絡帳に書いていたら放課後に子どもたちの学習につきあってくれました。放課後は忙しいと思うのに、時間を使っただけ嬉しかった。子どもも、できなかったから居残りという気持ちはなく、「先生と算数の特訓をして楽しかった。」といていたので、子どもにとっても楽しい勉強をできるような指導をしていただいているんだなと思いました。ありがとうございます。

◆学校に対する温かい励ましのお言葉、本当にありがとうございます。
また、日頃より本校の教育活動に対してご協力、ご支援いただいておりますことにも心より感謝致しております。
今後も子どもたちのために、ご家庭や地域と手を取り合って頑張っていきたいと思ひます。



- △指導中の私語や最後まで話を聞かずに自分の考えを出す等が気になります。上記に対して、学校はどのように話に注目させているのか教えていただきたいです。
- △学級費の集金が口座振替になったら助かります。（紛失の不安や、集金日に現金がないときがあるので）
- △問6に対して、地域の行事に出ると、なかなかあいさつや返事ができにことが多いように感じますし、その点に対しても、実行までつなげることが難しい状況です。（上記記載）

◆ご意見ありがとうございます。
ご意見にありました指導中の私語や意見については、授業の展開に応じて友だちと意見を自由に交わす場面と、全体でじっくりと友だちの考えを聞いて自分やグループの考えを発言させる場面とあり、教師の意図する授業の流れで大きく変わってきます。ご指摘の点については、今後授業の展開が参観されている保護者にも伝わるように、視覚的に授業の流れが分かる掲示をする等の工夫をしていきたいと考えています。
学級費の口座振替については、現在白石中学校区で検討をされており、2019年9月より、実施の予定です。
授業力向上や学級経営等については、今後職員の研修の機会を増やしたり、研鑽を深めたりし、個々の力量をさらに高めていきたいと考えております。

今回このアンケートは、保護者、児童、教職員にとらせていただひて集計しております。今後も何かご不明の点やご相談されたいことがありましたら、いつでもでも学校にお問ひ合わせください。

